

予期

私の足の指先に
私のその指先に

新たな闇と
目を射る、数えることの可能なエネルギー

あのグレースケールの砂洲の果て
月に鎮められている水面

彼方にちりばめられたビーズのゆらめき
4つの視線の交差する

ドームを縁取る雲、おお雲
お前は我々を通過する、我々の内なる起伏を

唇を求める唇
なにものをも映さぬ、つかの間の官能

潮は満ち、波はボリュームを増す
あとずさることなく、待ち受ける

私の足の指先に
私のその指先に迫るもの
それは私自身のものではない

(2001.10.23)